

長崎県生物多様性保全戦略の進捗状況について

長崎県生物多様性保全戦略の行動目標と主な事業

行動目標 自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する

- (1) 希少種のモニタリングと法令に基づく規制制度の運用
ツシヤママネコ保護増殖事業(モニタリング調査、イエネコ対策、交通事故対策等)
希少野生動植物種保全事業費(H23～モニタリング調査)
- (2) 固有種の保護
緑といきもの賑わい事業(種の保護増殖や生態系の保全・再生活動への助成)
鳥獣保護費(鳥獣保護区の指定管理、ガンカモ調査、外来生物に係る情報の収集・発信、ツシヤママネコに関する啓発活動、シカ等の生態系被害対策等の推進)
- (3) 外来生物・移入種対策
緑といきもの賑わい事業(種の保護増殖や生態系の保全・再生活動への助成)(再掲)
鳥獣保護費(鳥獣保護区の指定管理、外来生物に係る情報の収集・発信等の実施)(再掲)
- (4) 鳥獣被害対策
鳥獣保護費(鳥獣保護区の指定管理、ガンカモ調査、シカ等の生態系被害対策等の推進)(再掲)
地域で進める鳥獣対策推進事業(野生鳥獣による森林・生活被害対策等への支援)
- (5) 鳥獣の保護
鳥獣保護費(鳥獣保護区の指定管理、ガンカモ調査等の実施)(再掲)
負傷鳥獣保護活動強化事業費(負傷鳥獣の救護施設・体制の整備)
- (6) 野鳥の鳥インフルエンザ対策
鳥獣保護費(ガンカモ調査、糞便調査・死亡野鳥調査等を実施)(再掲)
- (7) 海域環境の保全・回復
水産環境整備事業(藻場の造成、海藻の生育状況のモニタリング調査を実施)
漁場環境保全対策(タイラギ、アサリ等の二枚貝を捕食するナルトビエイの駆除を実施)
水産多面的機能発揮対策事業(藻場・干潟・浅場の維持・回復等保全活動を行う組織の支援)
離島漁業再生支援交付金(離島での藻場・干潟の管理・改善活動への支援)
資源管理計画の策定(資源の維持、増大と持続的利用を図るために、資源管理計画を策定)
藻場回復技術実証推進事業(総合水産試験場で開発された藻場回復手法をモデル地区で実施)
再生砂による浅場づくり実証試験事業(再生砂を用いた人工的な浅場の造成、環境調査の実施)
海砂採取による海域影響調査(海砂採取の海域への影響調査(モニタリング)の実施)
- (8) 自然公園等の保全・管理
自然公園計画検討費(公園計画の再検討の実施)
自然公園等の許認可業務
- (9) 水質の安全
汚水処理対策(汚水処理施設の普及・促進)
明日の大村湾を創る事業(大村湾の貧酸素水塊及び赤潮対策としてエアレーション等の実施)
- (10) 漂流漂着ごみ対策
漂流漂着ごみ対策(漂着ごみの解析、環境教育などの発生抑制対策や各種漂着物対策の実施)
大村湾水質保全対策事業(浮遊ごみ除去対策事業への補助等)
- (11) 生物多様性に関する情報の整備・運用

ふるさと自然再生事業(県立公園の保存手法の見直し、自然環境の再生を推進)

行動目標 人とふるさとの自然とのつながりを回復する

- (1) 生産活動と多様な主体との連携の推進
森林ボランティア等の活動支援
- (2) 生物多様性に配慮した生産活動の実施
人と環境にやさしい農業対策事業(長崎版GAP、JGAP等の推進)
環境保全型農業直接支援対策事業費(環境保全型農業への支援等)
農業農村整備事業(環境情報協議会の開催)
- (3) 森林等の多面的機能の発揮
森林整備(搬出間伐の施業への支援)
森林ボランティア等の活動支援(再掲)
河川改修事業(多自然川づくりによる整備)
- (4) 里地里山の保全活用
中山間地域等直接支払制度(中山間地域等における不利性の直接補正)
ふるさと自然再生事業(県立公園の保存手法の見直し、自然環境の再生を推進)(再掲)
- (5) 有害鳥獣、外来生物による被害の防止
地域で進める鳥獣対策推進事業(野生鳥獣による森林・生活被害対策等への支援)(再掲)

行動目標 多様な地域資源の活用を進める

人と環境にやさしい農業対策事業(長崎版GAP、JGAP等の推進)(再掲)
自然環境情報の共有化と発信(自然環境情報の共有化、自然保護団体の取組のPR等を実施)
バイオマス資源の活用(木質バイオマスの利活用を推進)
エコツーリズムの推進(ジオパークや自然公園等の地域資源の活用)

行動目標 生物多様性の恵みにふれる機会を増やす

- (1) 自然公園等の環境美化
未来環境条例に基づくごみの投げ捨て等防止重点地区等の指定(周知・啓発活動及び巡回指導)
一斉清掃(県下統一実施日(月間)を中心に、環境美化活動を実施)
国立公園清掃活動補助金(ごみ等の収集・処分等の清掃を、国・県・市・地元団体と実施)
- (2) 自然とのふれあいの促進
自然公園等総合整備事業費(既存施設のリニューアル、新規整備、市町事業への助成の実施)
自然に親しむ運動(自然観察会等の実施)
鳥獣保護費(鳥獣保護区の指定管理、ガンカモ調査、探鳥会やツシマヤマメコに関する啓発活動)(再掲)
- (3) 保全活動への多様な主体の参加促進
美しいふるさと推進大会(県、県保健環境連合会の主催による推進大会の開催)
ながさき環境県民会議(レインボープランの進行管理)
諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業(水質保全及び住民活動の推進)
環境アドバイザー派遣制度(研修会・学習会等に環境アドバイザーを派遣)
森林ボランティア等の活動支援(再掲)
ながさきグリーンサポーター育成事業(環境関連情報の発信及び環境リーダー交流会等の実施)
自然環境情報の共有化と発信(自然環境情報の共有化、自然保護団体の取組のPR等を実施)(再掲)

行動目標 生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組を進める

(1) 生物多様性に関する情報の整備

自然環境情報の共有化と発信(自然環境情報の共有化、自然保護団体の取組のPR等を実施)
(再掲)

ふるさと自然再生事業(県立公園の保存手法の見直し、自然環境の再生を推進)(再掲)

希少野生動植物種保全事業費(H23～モニタリング調査)(再掲)

(2) 環境に配慮した取組の推進

環境影響評価の審査(開発行為の環境に対する影響を審査し、環境保全措置を指導)

県庁EMS(公共工事の環境配慮推進)

公有地化事業(用地基金)

自然公園計画検討費・自然公園等の許認可業務(再掲)

関連事業の事業費(再掲は除く)

	H29年度実績 (千円)	H30年度計画 (千円)
行動目標 自然環境の監視と種の保護・生態系の保存を強化する	8,522,571	9,234,444
行動目標 人とふるさとの自然とのつながりを回復する	1,961,172	2,182,353
行動目標 多様な地域資源の活用を進める	403,362	456,385
行動目標 生物多様性の恵みにふれる機会を増やす	49,651	78,230
行動目標 生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組を進める	4,188	4,835
合計	10,940,944	11,956,247

主要な事業の数値目標

	事業の指標	目標値	H29年度達成値
行動目標	生物多様性保全事業等によって守られた希少野生動植物種の種類	5種以上/年	5種
	生物多様性保全事業等実施箇所数	46箇所(H29年度)	46箇所
	地域性あふれる身近な自然環境を活用保全していく活動地域数	5地域(H28年度)	10地域
行動目標	有機・特別栽培に取り組む面積	1,724ha(H28年度)	1,943ha
	森林整備面積	1,480ha(H26年度)	1,776ha
行動目標	ジオツアー参加者満足度	80%(H32年度)	100%
	ホームページ等での情報の発信回数	50回/年以上	122回
行動目標	自然とのふれあい施設の整備・改修数	1箇所以上/年(H32年度)	4箇所
	実施イベントの満足度	80%(H32年度)	100%
行動目標	希少種モニタリングの実施回数	25回	46回
	公共事業等の環境配慮	100%(H32年度)	100%

主要事業の概要

希少野生動植物保全事業費(うちモニタリング調査)(H23～)

【目的】	希少野生動植物のモニタリング調査を継続する。
【内容】	H20～22年度の調査結果を踏まえ、特に絶滅のおそれの高い種や継続監視が必要な種などを対象に、各分野の専門家の協力を得て毎年度のモニタリング調査を継続
【関連する行動目標】	行動目標 自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する 行動目標 生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組を進める

希少野生動植物保全事業費(H19～)

【目的】	絶滅のおそれのある希少な野生動植物及びその生息・生育地を保護・保全するための施策を実施する。
【内容】	H25年度:希少野生動植物種の指定のあり方について検討 H26年度:希少野生動植物種の指定の検討 H27年度:希少野生動植物種保存地域指定(対馬市全域、長崎県全市町)希少野生動植物種の指定のあり方について検討 H28年度以降:保護・保全が必要な種に係る自然環境保全地域や希少野生動植物種保存地域の指定、拡大
【関連する行動目標】	行動目標 自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する 行動目標 生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組を進める

緑といきもの賑わい事業(うち生物多様性保全事業)(H21～)

【目的】	県生物多様性保全戦略に基づく各種の保全対策等を、各事業主体(県、市町、民間)が具体的に推進する。
【内容】	事業主体:県、市町・民間団体(補助) 対象事業: 保全地域等の保全事業 希少野生動植物の保護増殖事業 生物の生息・生育空間の創出事業 等 補助率: 平成30年度改正 (市町)2/3以内(離島部) 1/2以内(財政力指数0.42以下の本土部) 1/3以内(財政力指数0.42超の本土部) 上限350万円、下限50万円 (民間)9/10以内(NPO、任意団体、ボランティア団体等が行なう生物多様性保全事業) 上限30万円、下限10万円 1/2以内(上記以外) 上限120万円、下限15万円 H25年度:(県)自然公園の標識改修、木道改修 (補助)ピオトープ整備、ウミガメ孵化場整備 H26年度:(県)花壇造成、標識改修 (補助)外来種駆除、ピオトープ整備、 希少野生動植物生息生育地保全 H27年度:(県)標識設置、木道改修 (補助)希少野生動植物生息生育地保全 H28年度:(県)希少種保護標識設置 (補助)防鹿柵設置 H29年度:(県)原生沼ミズゴケ生育地保全、標識設置 (補助)希少野生動植物生息生育地保全、ピオトープ整備 H30年度:(県)原生沼ミズゴケ生育地保全、ピオトープ整備 (補助)希少野生動植物生息生育地保全
【関連する行動目標】	行動目標 自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する

自然に親しむ運動(S57～)、エコツーリズムの推進(H15～)

【目的】	自然公園において、自然観察会等を開催し、自然に親しむことを通じて自然保護思想の普及と自然公園の適正な利用を推進する。 エコツーリズムによるジオパークや自然公園等の地域資源の活用を通して、地域の振興と自然環境の保全を図る。
【内容】	H27年度: 西海国立公園指定60周年記念行事 10月4日(日)「宇久の自然と歴史再発見ツアー」 ジオパークガイドによる実践 11月8日(日)「認定ガイドが選ぶ、これがジオツアーだ!2015」 H28年度: 10月30日(日)「壱岐の自然ぐるっと満喫ツアー」 H29年度: 対馬におけるエコツーリズム推進について検討 留学生を対象としたジオツアー H30年度: 日本ジオパーク認定10周年記念シンポジウムにおけるジオツアー
【関連する行動目標】	行動目標 多様な地域資源の活用を進める 行動目標 生物多様性の恵みにふれる機会を増やす

ふるさと自然再生事業(H26～28)

【目的】	身近なふるさとの自然環境の保全、再生、活用を図るため、H25年年度に作成した生物多様性評価地図(GIS)を活用し、県立公園の保存手法を見直し、地域性あふれる自然環境の再生を推進する。
【内容】	事業主体: 民間団体(補助) 対象事業: 自然公園等の自然環境の快適かつ安全な利用に資する活動 里山里山保全などふるさとの自然の持続的利用に資する活動 希少種の保全、外来種の駆逐、草原の維持、風景の保全等に関する活動 上記活動の作業現場で直接使用する物品の貸与 連携内容: 活動作業現場で直接使用する物品の貸与 H26年度: 保存手法の見直し・モデル事業の検討(検討会、現地調査、GISの更新) モデル事業の実施(4箇所) ・自然公園等の自然環境の快適かつ安全な利用に資する活動(登山道安全確保のためのロープ、固定用ボルト等の貸与) ・里山保全に資する活動(作業のナタ、カマ等作業用具の貸与)等 H27年度: 保存手法の見直し・モデル事業の検討(検討会、GISの更新) モデル事業の実施(7箇所) ・希少種の保全に資する活動(トンボ生息地水田の維持管理用の小型草刈機、肥料、薬剤等の貸与) ・希少種の保全、草原の維持等に資する活動(草原景観と草原生態系維持のための野焼きに必要なガスバーナー、背負い敷き消火器の貸与)等 H28年度: モデル事業の検討(検討会) モデル事業の実施(6箇所) ・希少種の保全に資する活動(トンボ生息地水田の維持管理用の肥料、薬剤等の貸与) ・希少種の保全に資する活動(カスミサンショウウオ等生息地休耕田維持管理用の刈払機の貸与)等
【関連する行動目標】	行動目標 自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する 行動目標 人とふるさとの自然とのつながりを回復する 行動目標 生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組を進める